

當番の巡查が、かはるがはる靴音をさせて来て僕をからかふ。

妙法蓮華經觀世音菩薩、オンバザラダトバン。

色んな幻聽が聞えて来た。

夜になる。

時間の経過が解らない。

全市に張られた電話網に、非常線を報ずる會話が、奥の方から聞えて来る。四邊は靜かだ。夜が明ける。

脊廣服の醫者が来て、

『舌を出して御覽』と格子の外から言ふ。

僕は唾を吐き掛けた。

『麻疹だらう』

醫者は驚いて行つて了つた。

辨當箱を巡查がつき出す。